

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	WALLESS ACADEMY 永平寺		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		～ 2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 18日		～ 2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンの関わりの中で本人の強み、苦手さに気が付く環境提供	ご家族からの主訴や発達検査等を踏まえながらも、マンツーマンの中での関わりで継続してアセスメントを実施し、「強み」「弱み」を見立てて支援、強化に取り組むこと。	全体での研修、個々の研修等の研鑽を積んでいき、さまざまな観点での見立てを立てる力を向上させていく。
2	多種多様な専門的資格保持者及びさまざまな経験を持ったスタッフの関わり	1人のお子様に対して数人のチームでアプローチをすることにより、様々な支援方法を共有していくように取り組む。	支援後の記録を共有したり、ミーティング等の開催、その都度支援者同士がお子様の課題に向き合える環境を整備していく。
3	園や移行先の学校等との連携	本人やご家庭を中心に添えて、その周囲の環境を整備していくことで本人にとって適した環境を整えていく。	単なる情報の共有連携だけではなく、それぞれの機関の役割を明確化していくことを心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援方法や見立て等をさらに向上させていくための環境整備	支援に向き合う時間が中心となり、子どもの課題について共有するために時間確保が難しい。	1ヶ月や年間予定の中に共有カンファの時間を事前に設けておくことで対応していく。
2	園、学校等での集団での具体的な行動支援	マンツーマンで大人との関わりが中心である中、実際の集団生活で子どもでの対応方法をその場で伝えることはできない。そのため、SSTとして一緒に確認をしていくが、それをリアルタイムに汎化していくことが難しい。	ご家族や相談員、お子様の所属先機関との情報共有をしていく中で集団の中での課題を共有し、支援の中に入れ込んでいくことを実施する。
3	支援スキルの向上及び研修等の体制整備	通所されるお子様への支援に追われていくことが多く、社内研修や一人一人の子どもへの課題を共有したり、支援方法を協議することが難しい。	事務的な作業について事務スタッフに任せ、子ども支援に関して協議するなどの時間を確保する。計画的に研修計画を立てること及びキャリアパスをさらに見える化をしながら計画的な研修、資格取得等ができる体制を整備

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 WALLESS ACADEMY 永平寺

公表日 2025 年 3 月 13 日

利用児童数 4

回収数 2

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	1	1	交流する機会があってもいいと思います。	他の地域の子どもたちとの関わりを機会は現在提供できておりません。連絡会議等の機会に他の地域資源も訪問してみます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	1		福井事業所の方でペアトレを開催することがあるため、引き続き多くの方に周知していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	1	1	交流する機会があってもいいと思います。	同じ世代の子どもを持つご家族同士が交流する機会は「ペアトーク」という機会を福井事業所で開催したことがあります。今後も引き続き交流の機会を開催していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	1		園での過ごし方や今後のライフステージの変化に伴いお困りごとは随時あるかと思えます。定期的なモニタリングに加えて公式ラインの方でお困りごとがあった際にはご連絡いただけることを周知していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	2	説明を受けたか不明	事業所としてマニュアルは整備しておりますが、ご家庭への周知ができていない状況です。面談の機会等で周知し安心してご利用していただけるよう努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	2	説明を受けたか不明	定期的な訓練等は実施しておりますが、ご利用者様への実施報告は現在徹底されていない状態です。安心してご利用続けていただけるよう周知等を踏まえて努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	0	0	0	2	説明を受けたか不明	感染や災害時にどのように対応するのかについて周知が徹底されていません。今後は機会がある時に流れを説明したいと思えます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	1	0	0	1	説明を受けたか不明	事故等があった場合の緊急連絡先は最初にお伺いしておりますが、どのようなプロセスでご連絡をさせていただけるか周知は徹底されていません。事故時の対応流れについても今後は周知していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 WALLESS ACADEMY 永平寺

公表日 2025 年 3月 13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	2		今よりも余裕を持った配置数であると、職員にも余裕が生まれると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0		支援室から外に音が漏れてしまうことがあったため、工事を実施し対応した。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1		定期的な面談を年間を通して実施していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		年間を通して外部研修参加や講師に来てもらい研修を継続していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	1		最初の支援から継続していくに連れて課題が変わってくるケースがある。その場合には支援方法を継続して精査していく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	0	2		マンツーマンを中心とした支援を実施。集団生活の中で困り感を持たないよう個別支援を継続する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	2		定期的な支援モニタリングの時間確保が課題である。週に1回水曜日などに時間を決めて実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1		現状として定期的な交流機会の開催はできていない状況である。保護者同士の関わりの希望もあるためそのような機会も将来的は設けてみたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		